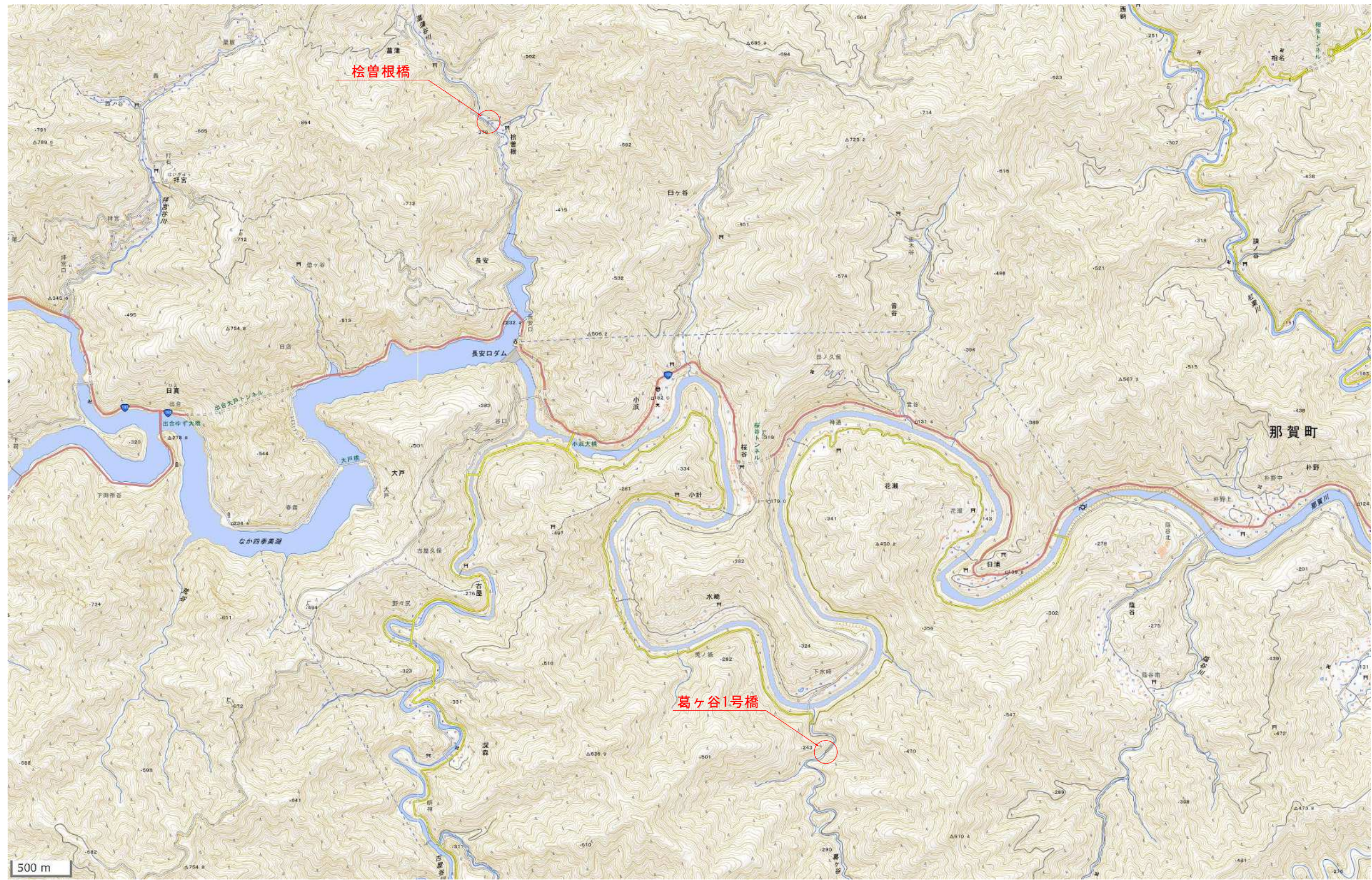


橋 梁 位 置 図

(桧曽根橋・葛ヶ谷1号橋)

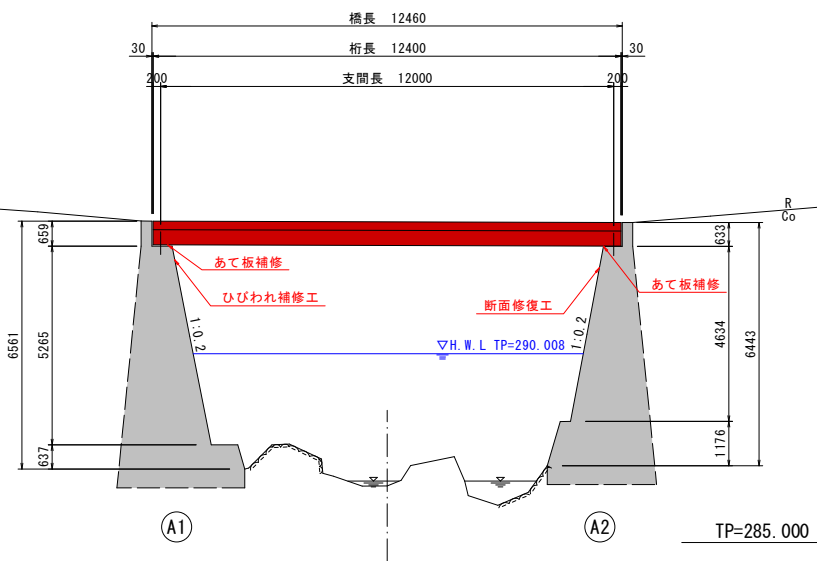


【桧曽根橋・葛ヶ谷1号橋】			
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事（桧曽根橋ほか）		
路線名等	町道桧曽根線		
工事箇所	那賀町桧曽根字横ヶ谷		
図面名	橋梁位置図		
縮尺		図面番号	1 / 11
会社名			
事業者名	那賀町建設課		

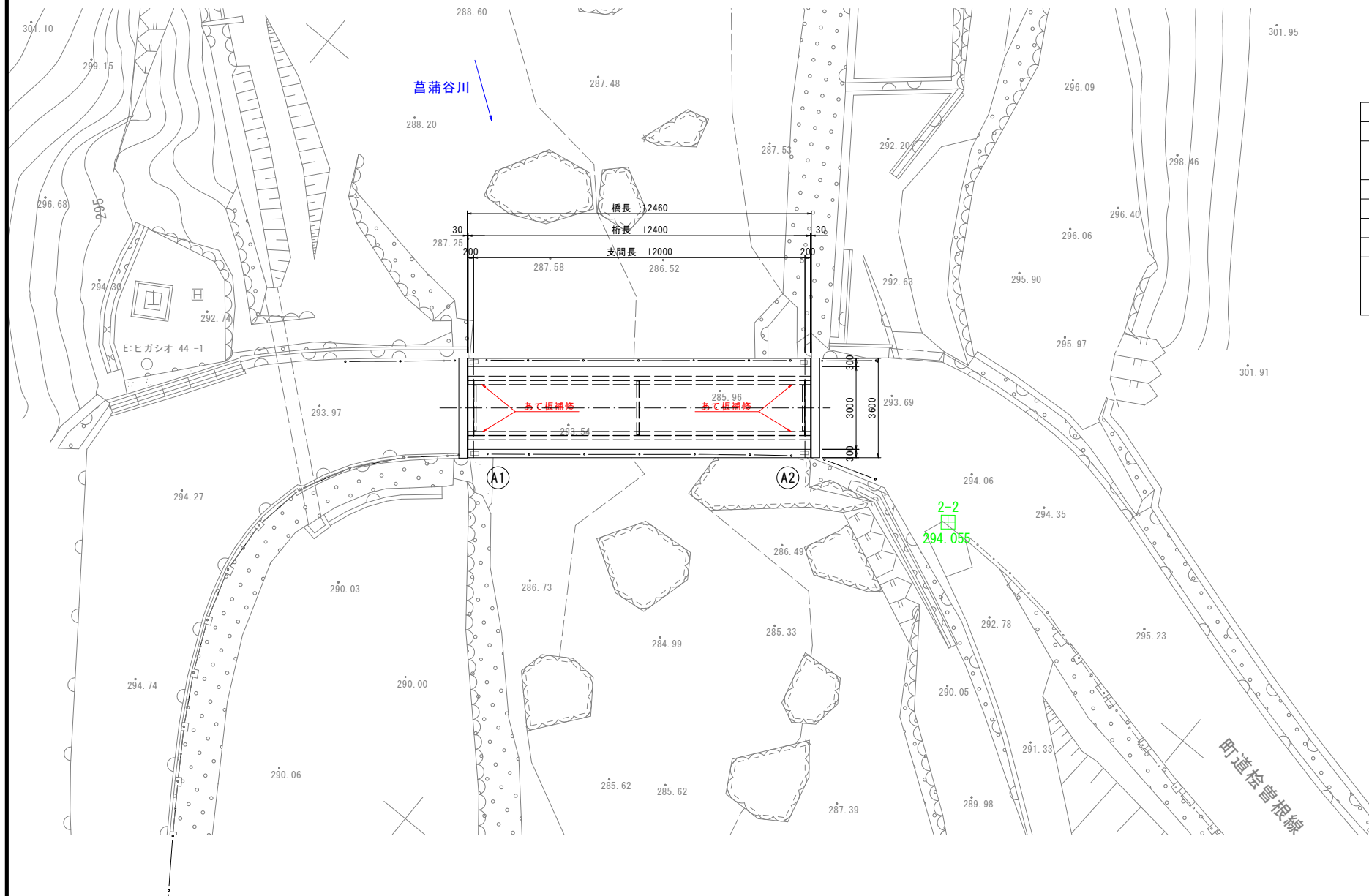
※この地図は国土地理院の数値地図25,000(地図画像)の一部を転載したものである。

補修一般図
(桧曽根橋)

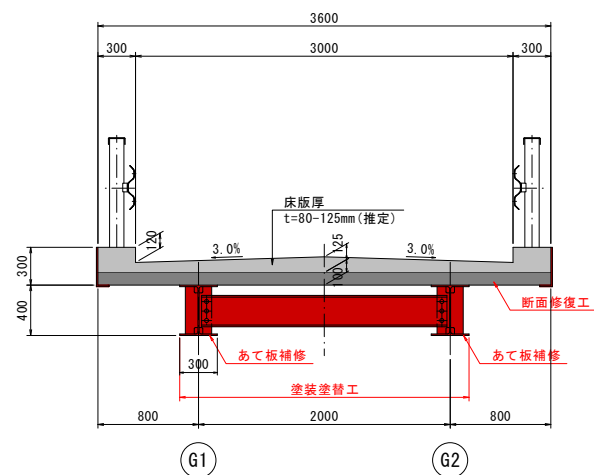
側面図 S=1:100



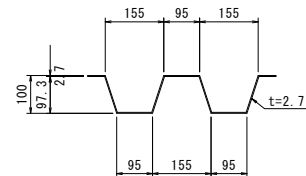
平面図 S=1:100



断面図 S=1:30



デッキプレート詳細図 S=1:10



【橋梁諸元】

項 目	諸元	上部工形式	鋼単純H桁橋
橋 梁 名 称	桧曽根橋	下部工形式	重力式橋台 (A1、A2、※推定)
所 在 地	(自) 徳島県那賀郡那賀町桧曽根字横ヶ谷 (至) 徳島県那賀郡那賀町桧曽根字横ヶ谷	基礎工形式	直接基礎 (A1、A2、※推定)
路 線 名	町道桧曽根線	設 計 荷 重	不明
管 轄	那賀町 建設課	適 用 示 方 書	昭和31年(※推定)
橋 長	12.460m	架 設 年 度	1968年(架設後56年経過)
径 間 数	1径間	交 差 物 件	菖蒲谷川
幅 員	(標準部) 全幅: 3.6m、有効幅員: 3.0m 地覆0.30m+車道3.00m+地覆0.30m	添 架 物	無し
		緊急輸送路の指定	無し
		補 修 履 歴 (点 検 履 歴)	2022年: 定期点検

補修工法一覧

工 種	内 容
上部工補修(RC床版)	断面修復 ポリマーセメントモルタル
下部工補修	断面修復 ポリマーセメントモルタル
上部工補修	ひびわれ補修(ひびわれ充填) ポリマーセメントモルタル
鋼橋塗装	あて板補修 塗装塗替
	Rc-II

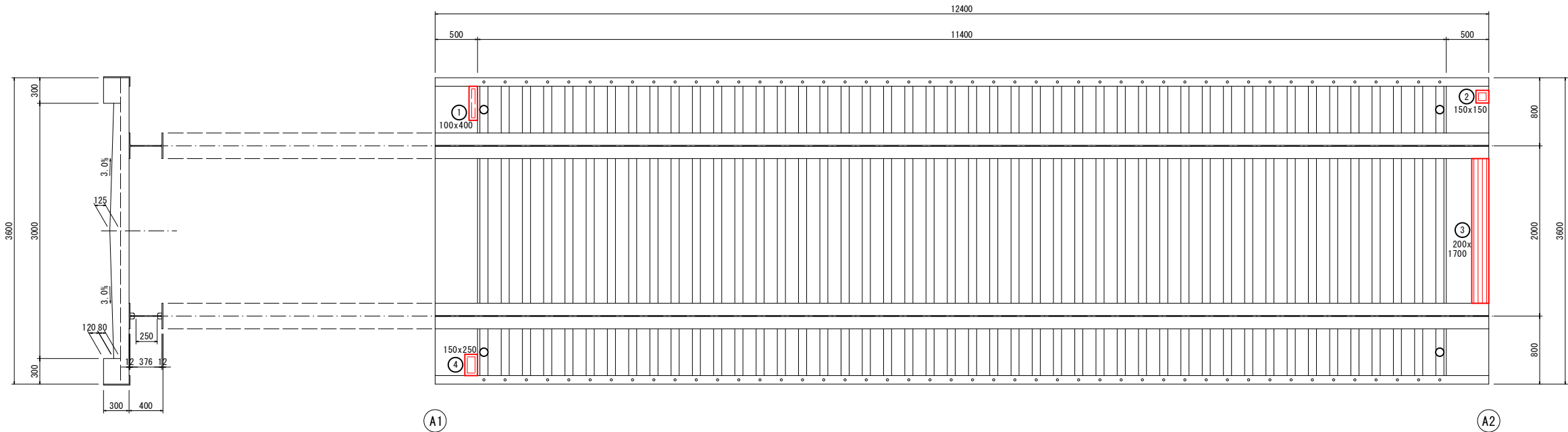
※留意点
・本橋梁は設計図書及び完成図書が存在せず、現地寸法計測及び既往成果の復元図により作図している。
・地形線は現地簡易計測により作図している。
・耐震補強設計など反力の算出や詳細な寸法や施工計画が必要となる場合、測量などの実施により詳細な寸法を決定すること。

【桧曽根橋】

工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事(桧曽根橋ほか)		
路線名等	町道桧曽根線		
工事箇所	那賀町桧曽根字横ヶ谷		
図面名	補修一般図		
縮尺	図 示	図面番号	2 / 11
会社名			
事業者名	那賀町建設課		

コンクリート部材補修詳細図(その1)

床板下面 断面修復工 S=1:30

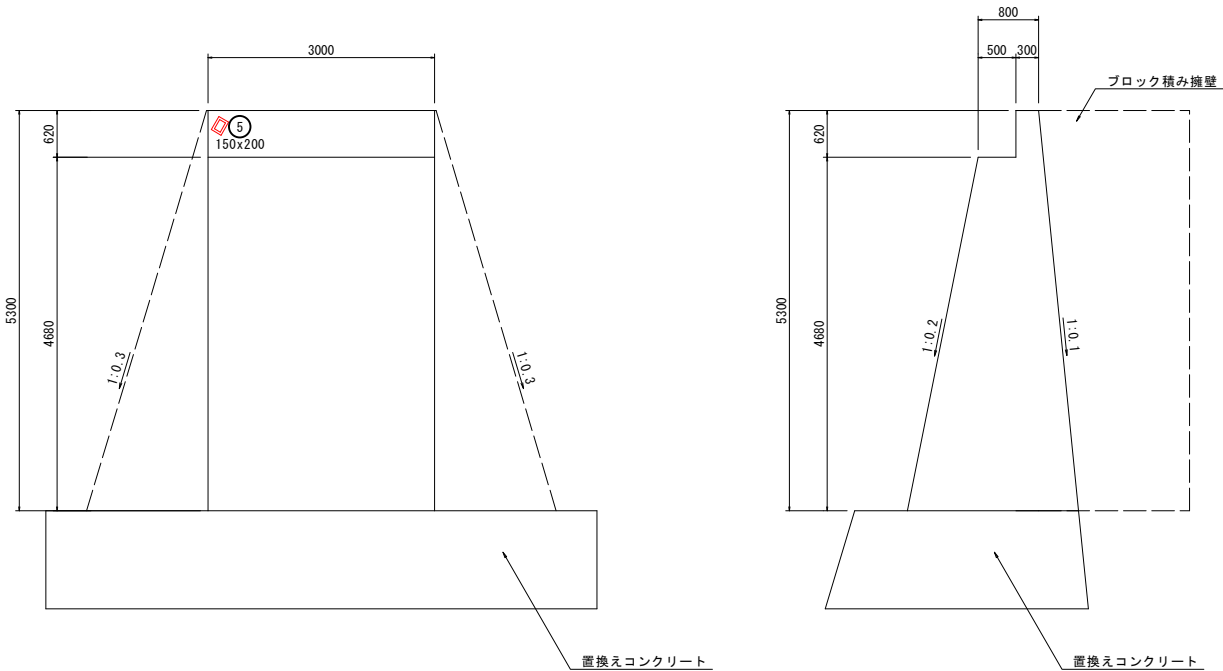


床板下面 断面修復工									
部材	No.	種別	幅(m)	長さ(m)	深さ(mm)	全面積(m2)	全体積(m3)	防錆処理	備考
床板0101	1	剥離・鉄筋露出	0.10	0.40	0.030	0.040	0.0012	無	剥離
床板0102	2	剥離・鉄筋露出	0.15	0.15	0.030	0.023	0.0007	無	剥離
床板0202	3	剥離・鉄筋露出	0.20	1.70	0.080	0.340	0.0272	有	鉄筋露出
床板0301	4	剥離・鉄筋露出	0.15	0.25	0.030	0.038	0.0011	無	剥離
合計						0.441	0.0302		

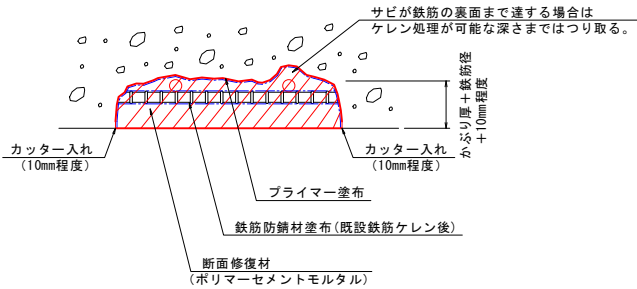
A2橋台 断面修復工 S=1:50

正面図

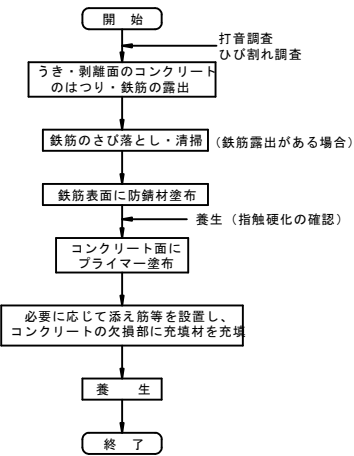
側面図



断面修復工詳細図



〔断面修復工法の施工要領〕



《補修工法一覧表》	
損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡	例
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
欠損	
腐食	
豆板・空洞	
漏水・滲水	
補修跡	

- 注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
- 注) 使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
- 注) 補修部縁端は、フェザーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れること。
- 注) はつり深さは適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去して充填を行うこと。
- 注) 鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の粗骨材寸法程度まで除去する。(10～20mm程度)
- 注) はつりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。
- 注) コテ等で下地に3～5mm厚みでしごき塗りをを行い、1回の塗厚20mm程度で塗り重ねていくこと。

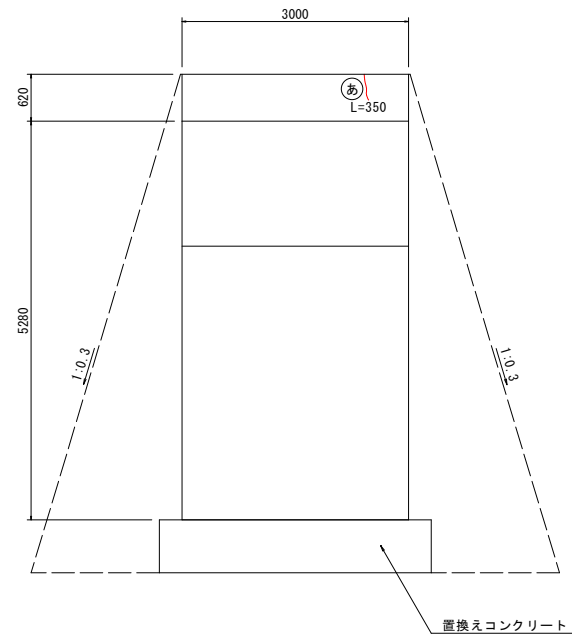
A2橋台 断面修復工									
部材	No.	種別	幅(m)	長さ(m)	深さ(mm)	全面積(m2)	全体積(m3)	防錆処理	備考
胸壁0102	5	剥離・鉄筋露出	0.15	0.20	0.030	0.030	0.0009	無	剥離
合計						0.030	0.0009		

【桧曽根橋】	
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事（桧曽根橋ほか）
路線名等	町道桧曽根線
工事箇所	那賀町桧曽根字横ヶ谷
図面名	コンクリート部材補修詳細図(その1)
縮尺	図示 図面番号 3 / 11
会社名	
事業者名	那賀町建設課

コンクリート部材補修詳細図(その2)

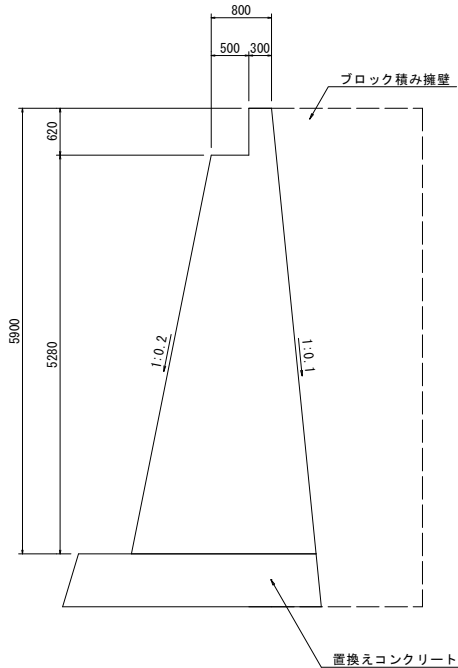
A1橋台 ひび割れ充てん工法 S=1:50

正面図

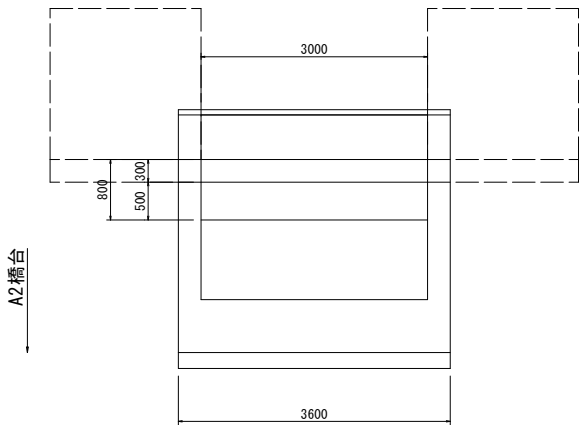


ひびわれ充てん工法		
番号	幅 (mm)	延長 (m)
あ	2.00	0.35
平均	2.00	-
合計	-	0.35

側面図



平面図

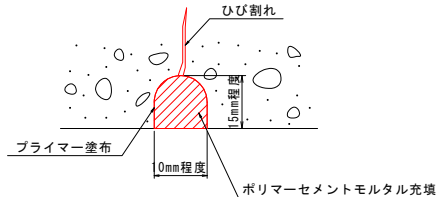


— — : 黒の破線部は擁壁を表す。

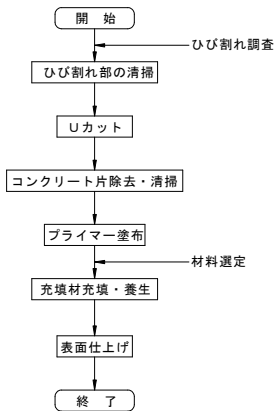
※橋台背面の勾配は、過年度の点検調査の損傷図を参考とする。

ひびわれ充てん工詳細図

(Uカット工法)



〔Uカット工法の施工要領〕



注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 充填材は、ポリマーセメントモルタルとする。
注) 基本的にひび割れ幅1.0mm以上及び遊離石灰等で注入が困難な箇所を対象とする。
注) 遊離石灰部は研掃して状態を見極めて、補修の必要性を判断すること。
注) 損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、監督員と協議の上、最終決定すること。

《補修工法一覧表》

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

凡 例
ひびわれ
う き
剥 離
鉄筋露出
遊離石灰
欠損
腐食
豆板・空洞
漏水・滞水
補修跡

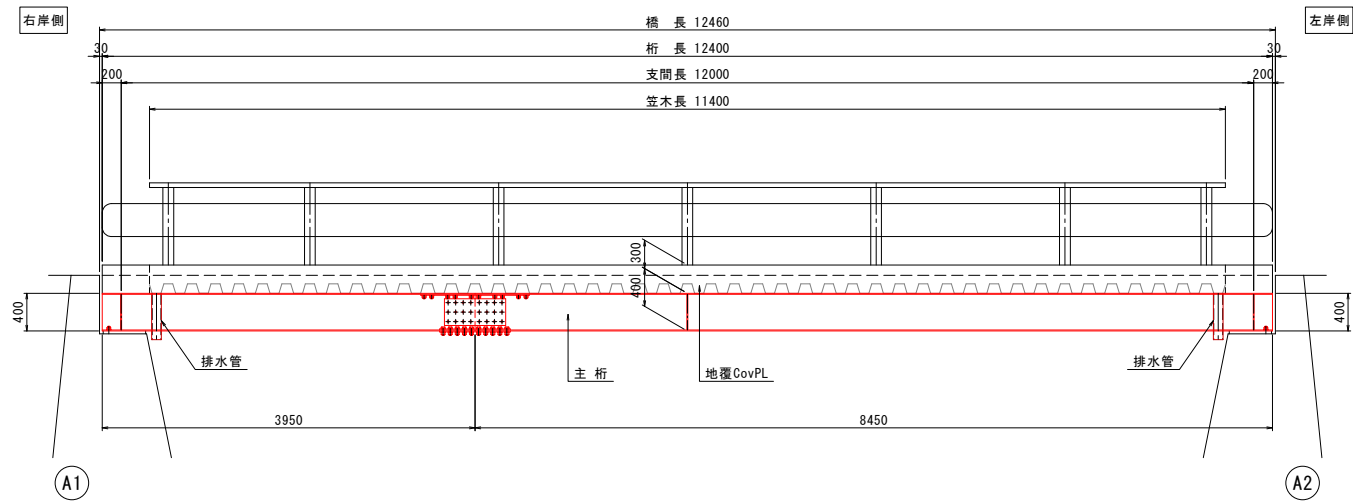
【桧曽根橋】

工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事（桧曽根橋ほか）		
路線名等	町道桧曽根線		
工事箇所	那賀町桧曽根字横ヶ谷		
図面名	コンクリート部材補修詳細図(その2)		
縮尺	1:50	図面番号	4 / 11
会社名			
事業者名	那賀町建設課		

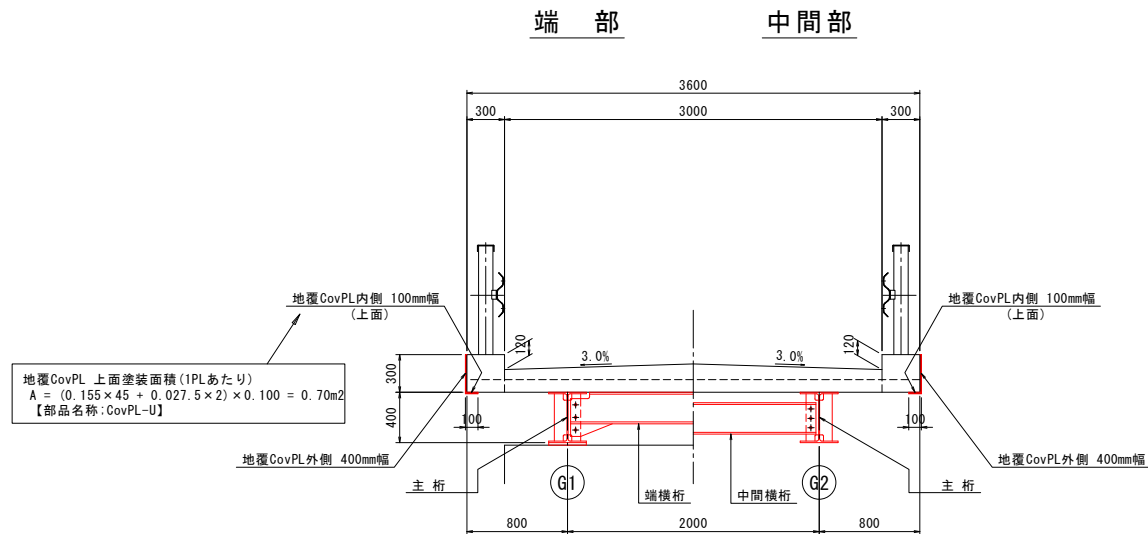
塗装補修工詳細図(その1)

※ 赤色箇所は、塗替え塗装部を示す。

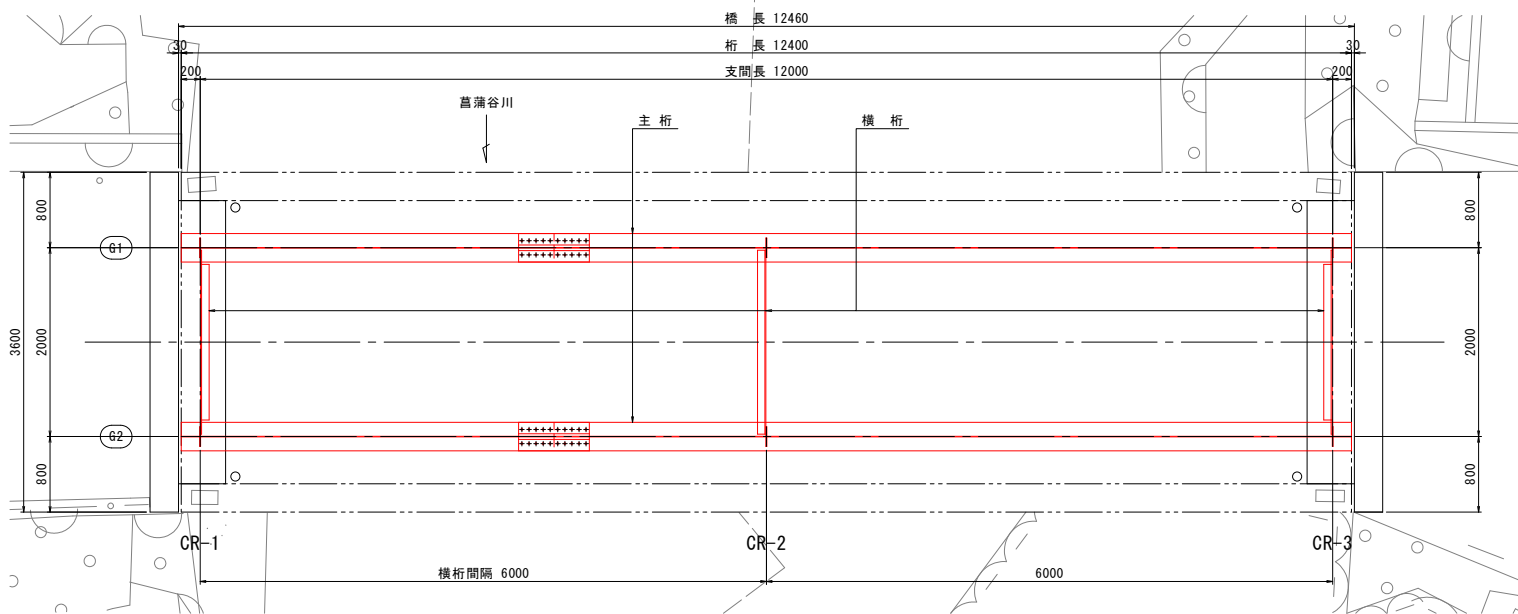
側面図 S=1:40



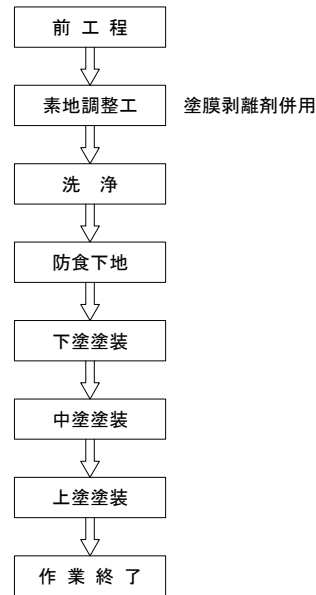
断面図 S=1:30



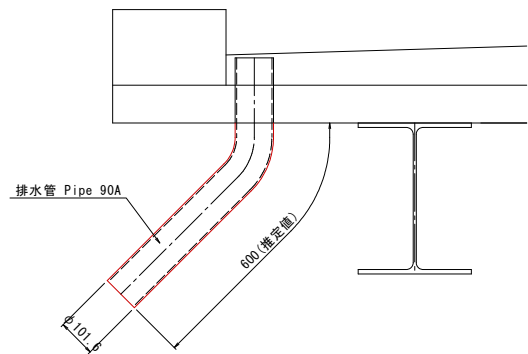
平面図 S=1:40



塗替え塗装工フロー図



排水管 S=1:10
(N=4箇所)



塗替え塗装要領

上塗工 (弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗)
(0.12kg/m²/回)

中塗工 (弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗)
(0.14kg/m²/回)

下塗工 (弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 2回)
(0.20kg/m²/回)

防食下地工 (有機ジnkリッチペイント)
(0.24kg/m²/回) ※ (1)

素地調整工 Rc-II

鋼材表面

Rc-II塗装系 (はけ、ローラー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装 間隔
素地調整	2種		4時間 以内
防食下地	有機ジnkリッチペイント ※ (1)	(240)	1~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1~10日

※十分な養生と飛散防止を行うこと。

※ (1) 素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、
有機ジnkリッチペイントの使用量600g/m²とする。

注記)

1. 既設構造物寸法・形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し工事に反映すること。
2. 塗装仕様は、Rc-II塗装系を基本とする。
3. 施工前に腐食範囲の進行を確認し、適宜調整を行うこと。
4. 塗装施工の際は飛散防止に留意すること。
5. 素地調整作業時に、断面減少及び孔食が生じた場合には金属パテ (エポキシ系) にて断面整形を行ったのち塗装を施すこと。
6. 既存塗膜の剥離は塗膜剥離剤を使用すること。
7. 設計段階では塗膜剥離剤の塗布回数は1回としているが、施工前に剥離試験を行い、適切な塗布回数を確認すること。

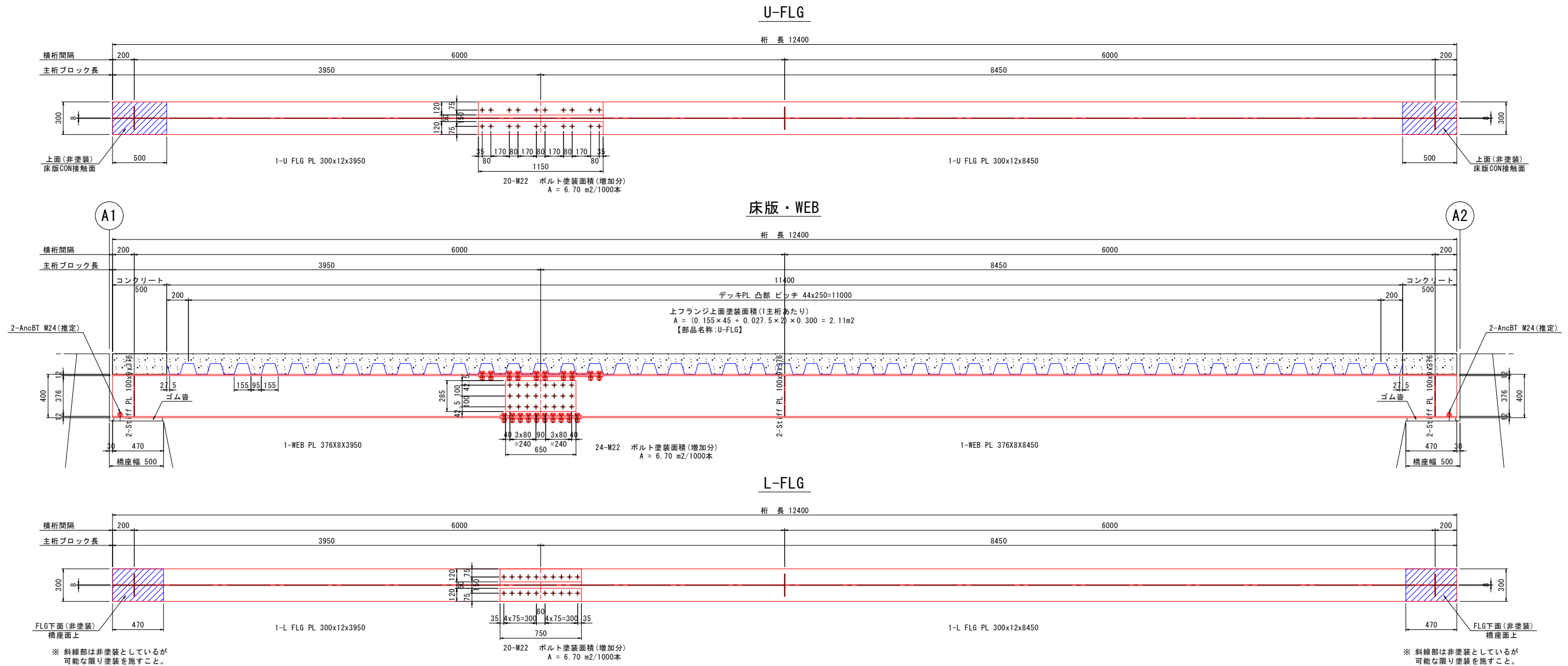
【桧曽根橋】

工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事 (桧曽根橋ほか)		
路線名等	町道桧曽根線		
工事箇所	那賀町桧曽根字横ヶ谷		
図面名	塗装補修工詳細図 (その1)		
縮尺	図示	図面番号	5 / 11
会社名			
事業者名	那賀町建設課		

塗装補修工詳細図(その2)

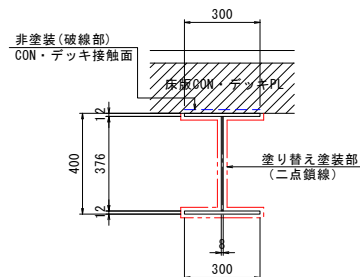
※ 赤色箇所は、塗替え塗装部を示す。
※ 青色箇所は、非塗装部を示す。

主桁詳細図(G1, G2共通) S=1:20



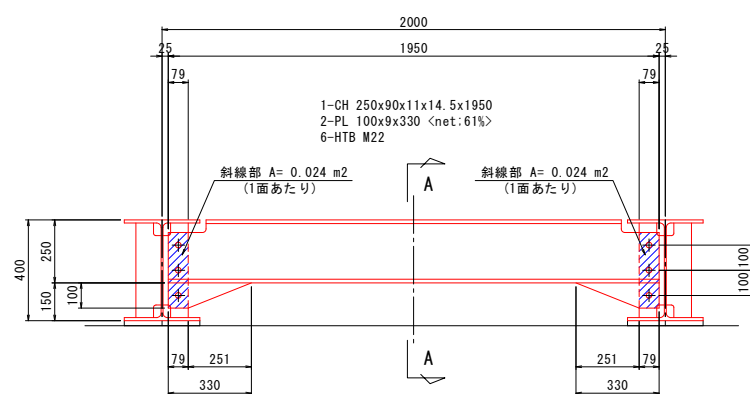
横桁詳細図 S=1:15

主桁断面詳細図 S=1:15



端横桁

CR-1, CR-3

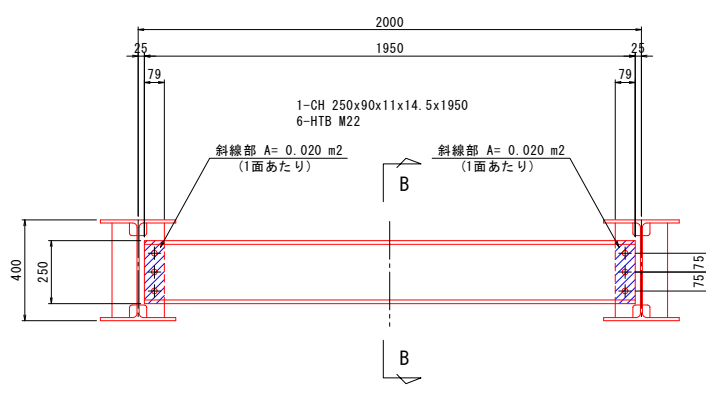


塗装面積控除箇所(連結部)

1横桁あたり非塗装面積(斜線部)
A = 0.024 × 2面 × 2箇所 = -0.10m²
【部品名称:VS+CR】

中間横桁

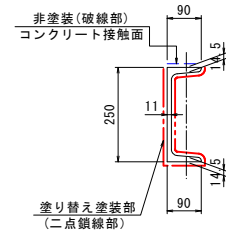
CR-2



塗装面積控除箇所(連結部)

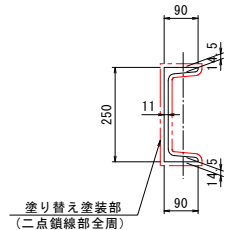
1横桁あたり非塗装面積(斜線部)
A = 0.020 × 2面 × 2箇所 = -0.08m²
【部品名称:VS+CR】

A - A S=1:10



塗装ネット率 89%

B - B S=1:10



塗装ネット率 100%

【検査根拠】

工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事(検査根拠ほか)		
路線名等	町道検査根拠		
工事箇所	那賀町検査根字横ヶ谷		
図面名	塗装補修工詳細図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	6 / 11
会社名			
事業者名	那賀町建設課		

A1橋台側

Figure 1: Plan view of a reinforced concrete slab. The diagram shows a rectangular slab with dimensions and reinforcement details. Key dimensions include a total width of 460mm, a top reinforcement pitch of 200mm, and a bottom reinforcement pitch of 80mm. The slab is divided into sections with lengths of 1250mm, 1100mm, and 770mm. Reinforcement bars are shown with cross-sections and labels like "TCB ピッチ" and "TCボルト". Notes specify the maximum edge distance of TC bolts (80mm) and the maximum center-to-center spacing (120mm). A red box highlights a section of the bottom reinforcement.

※ 着色部には金属パテにて断面整形のみを施す

断面側

A1

300

460

131

131

TCB ピッチ 80

橋座前面

当て板側 11-φ26.5孔
既設材側 19-φ24.5孔明け

1700

1250

10x110=1100

70

40

7x110=770

40

C

D

G1

300

460

131

131

TCB ピッチ 80

18x110=1980

2100

2500

C

D

1-Web PL 120x10x1250 (SM400A)
 1-Flg PL 131x10x1250 (SM400A)
 1-Web PL 120x10x2100 (SM400A)
 1-Flg PL 131x10x2100 (SM400A)
 1-Flg PL 290x10x2100 (SS400)
 1-Fill PL 120x10x1250 (SS400)
 1-Fill PL 120x10x2100 (SS400)
 11-TCB M22x85 (S10T)
 8-TCB M22x65 (S10T)
 30-TCB M22x70 (S10T)
 8-TCB M22x60 (S10T)

290
 130
 404
 80
 18x110=1980
 40
 TCB ピッチ
 当て板長 2100

側面図 (B-B)

The diagram shows a side view of the bridge deck with the following dimensions and features:

- Overall Dimensions:** Total width is 460 mm. The main deck width is 2100 mm.
- Deck Structure:** The top layer has a thickness of 40 mm. The bottom layer has a thickness of 40 mm. The total height of the deck is 376 mm.
- Reinforcement:** There are 19 reinforcement bars (φ26.5) spaced at 110 mm (18x110=1980 mm). The bars are labeled "当て板側 19-φ26.5孔" and "既設材側 19-φ24.5孔明け".
- Other Details:** The distance from the left edge to the first bar is 200 mm. The distance between the TCB (Top Concrete Bridge) and the bottom layer is 80 mm. The distance from the bottom layer to the centerline is 130 mm. The distance from the centerline to the right edge is 70.5 mm. The bridge width is 500 mm. The TCB pitch is 80 mm. The total length of the deck is 2100 mm.

[illegible]

1-Web PL 120x10x1440 (SM400A)
 1-Flg PL 131x10x1440 (SM400A)
 1-Web PL 120x10x 780 (SM400A)
 1-Flg PL 131x10x 780 (SM400A)
 1-Flg PL 290x10x1440 (SS400)
 1-F-ll PL 120x10x1440 (SS400)
 1-F-ll PL 120x10x 780 (SS400)
 7-TCB M22x85 (S10T)
 6-TCB M22x65 (S10T)
 20-TCB M22x70 (S10T)
 6-TCB M22x60 (S10T)

290
 130
 404
 404
 TCB ピッチ 80
 12x110=1320
 40
 当て板長 1440

側面図 (1-1)

Side view (1-1) of the bridge deck. The diagram shows the cross-section of the deck with various dimensions and components. Key dimensions include: overall width 460, TCB pitch 200, TCB width 80, and a total length of 780. The deck is supported by a base with a width of 500. The base has a TCB pitch of 80 and a total length of 1440. The base is divided into sections of 6x110=660 and 5x110=550. The base has a height of 376 and a total height of 400. The base is labeled "Web (外側)". The base has a total length of 1440. The base is divided into sections of 6x110=660 and 5x110=550. The base has a height of 376 and a total height of 400. The base is labeled "Web (外側)".

460 当て板長 780

200 TCB ピッチ 80 6x110=660 40

Web (外側)

当て板側 7-φ26.5孔

30 70 50 10 12

橋座幅 500

TCB ピッチ 80 6x110=660 110 5x110=550 40

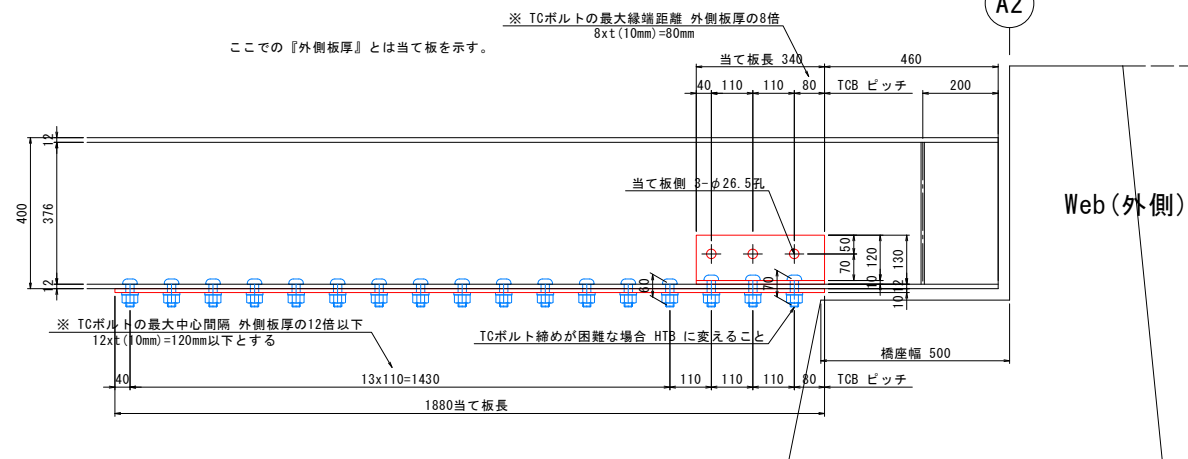
1440当て板長

376 400

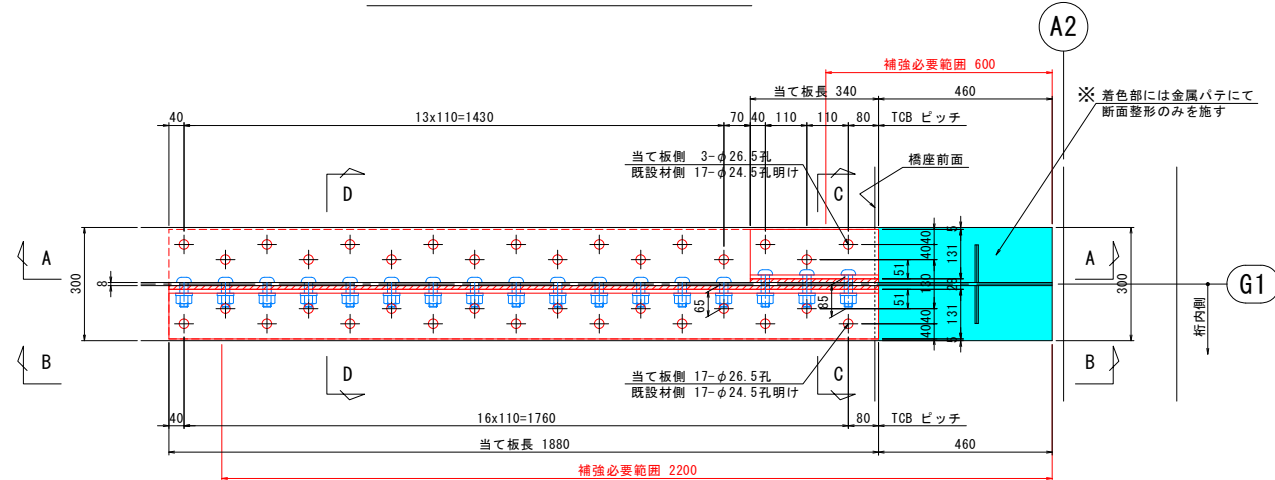
【桧曽根橋】			
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事（桧曽根橋ほか）		
路線名等	町道桧曽根線		
工事箇所	那賀町桧曽根字横ヶ谷		
図面名	当て板補修工詳細図（その1）		
縮尺	1：10	図面番号	7 / 11
会社名			
事業者名	那賀町建設課		

A2橋台側

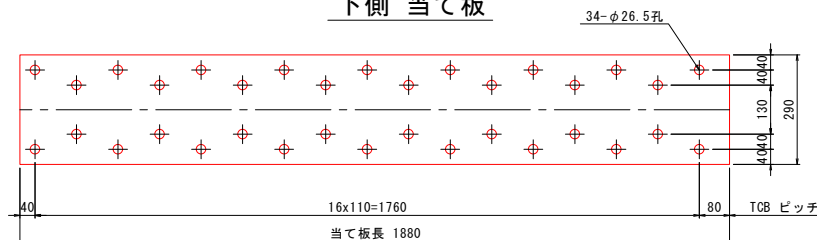
ここでの『外側板厚』とは当て板を示す。



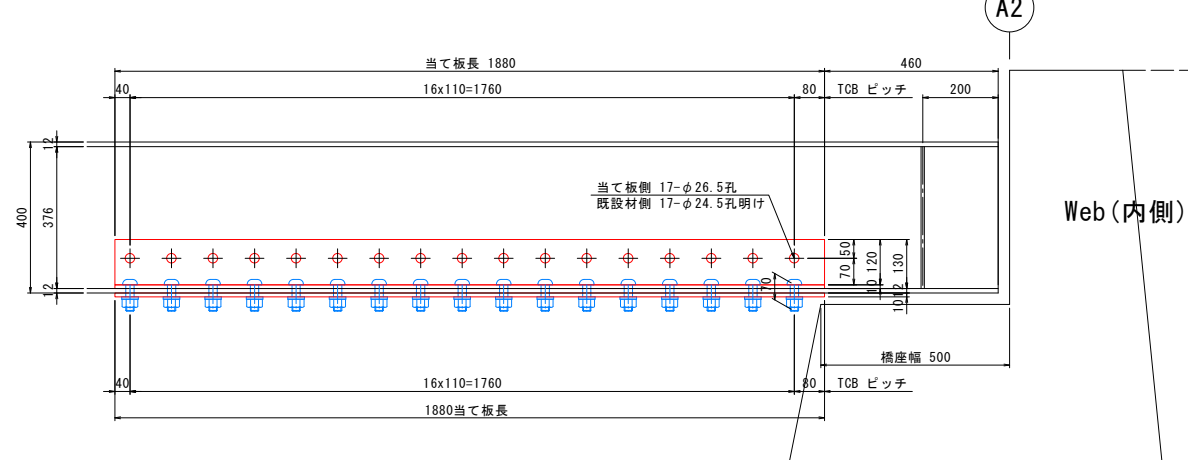
L-FLG 上面側 平面図



34- ϕ 26.5孔

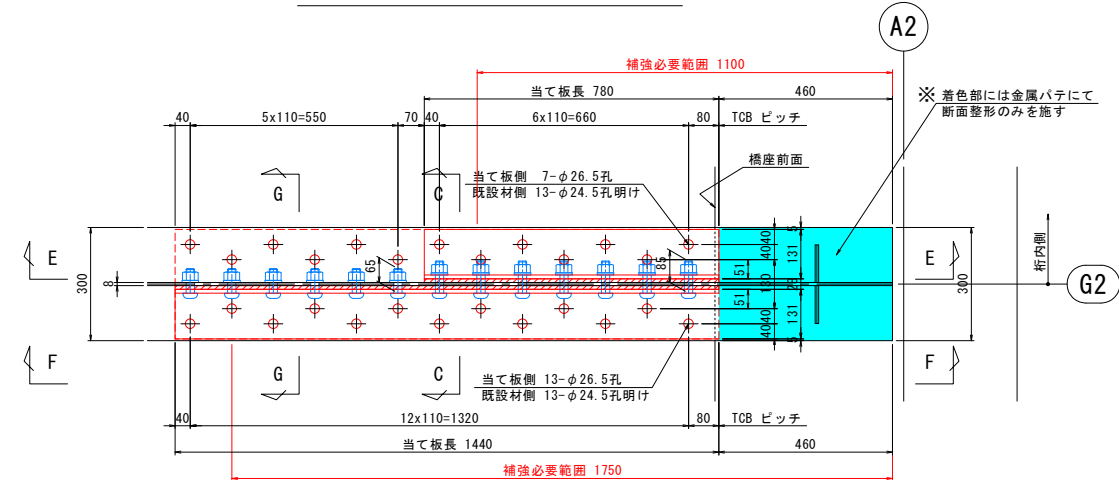


- | | |
|----------|-------------------------|
| 1-Web | PL 120x10x 340 (SM400A) |
| 1-Flg | PL 131x10x 340 (SM400A) |
| 1-Web | PL 120x10x1880 (SM400A) |
| 1-Flg | PL 131x10x1880 (SM400A) |
| 1-Flg | PL 290x10x1880 (SS400) |
| 1-Fil I | PL 120x10x 340 (SS400) |
| 1-Fil II | PL 120x10x1880 (SS400) |
| 3-TGB | M22x85 (S10T) |
| 14-TGB | M22x65 (S10T) |
| 20-TGB | M22x70 (S10T) |
| 14-TGB | M22x60 (S10T) |

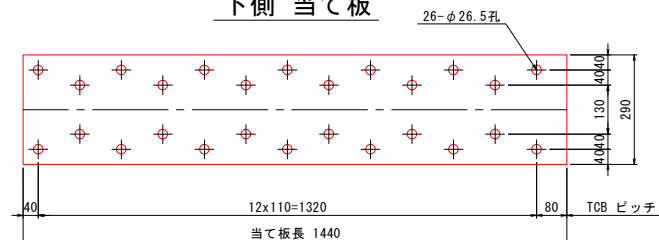


Technical drawing of a bridge deck cross-section. The drawing shows a rectangular cross-section with a total width of 1440 mm (labeled '1440 当て板長'). The top flange has a width of 780 mm (labeled '当て板長 780') and a thickness of 40 mm. The bottom flange has a width of 500 mm (labeled '橋座幅 500') and a thickness of 120 mm. The web has a height of 376 mm (labeled '376') and a thickness of 12 mm. The drawing includes reinforcement details: 6x110=660 mm (labeled '6x110=660') for the top flange, 5x110=550 mm (labeled '5x110=550') for the bottom flange, and 7-φ26.5 (labeled '7-φ26.5 孔') for the web. The drawing also shows the TCB pitch (labeled 'TCB ピッチ') and the web (labeled 'Web (内側)').

L-FLG 上面側 平面図



26-φ 26.5孔



- | | |
|--------|-------------------------|
| 1-Web | PL 120x10x 780 (SM400A) |
| 1-Flg | PL 131x10x 780 (SM400A) |
| 1-Web | PL 120x10x1440 (SM400A) |
| 1-Flg | PL 131x10x1440 (SM400A) |
| 1-Flg | 290x10x1440 (SS400) |
| 1-Fill | PL 120x10x 780 (SS400) |
| 1-Fill | PL 120x10x1440 (SS400) |
| 7-TCB | M22x85 (S10T) |
| 6-TCB | M22x65 (S10T) |
| 20-TCB | M22x70 (S10T) |
| 6-TCB | M22x60 (S10T) |

Technical drawing of a bridge deck cross-section. The drawing shows a rectangular section with a width of 500 mm (橋座幅 500). The total width of the deck is 1440 mm (1440 当て板長). The deck is composed of 12x110 mm panels (12x110=1320). The deck is reinforced with 13-φ26.5 bars (当て板側 13-φ26.5 孔) and 13-φ24.5 bars (既設材側 13-φ24.5 孔明け). The drawing also shows the TCB pitch (TCB ピッチ) and the web (Web (外側)).

注記)

1. 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上、材料手配及び製作・施工を行うこと。
2. 鋼材の加工は現場の調査・計測を行い、構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 施工前に腐食範囲の進行を確認し、適宜調整を行うこと。
4. 図中の形状・寸法は、現地計測を基に作成している。

5. C-C、D-D、G-G断面は、当て板補修工図(その3)を参照のこと。

【桧曽根橋】			
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事（桧曽根橋ほか）		
路線名等	町道桧曽根線		
工事箇所	那賀町桧曽根字横ヶ谷		
図面名	当て板補修工詳細図（その2）		
縮尺	1：10	図面番号	8 / 11
会社名			
事業者名	那賀町建設課		

A1, A2側共通

Technical drawing of a beam-to-column joint showing dimensions and components. The drawing includes labels for 'ウェブ厚' (Web thickness), '10', '8', '10', 'フィラーPL (斜線部)' (Filler PL (hatched area)), '当て板' (Gusset plate), 'フランジ厚' (Flange thickness), '120', '10', '12', '10', '131', and 'フィレットを考慮してのあき (青色部)' (Gap considering fillet (blue area)).

凡	例
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
欠損	
腐食	
豆板・空洞	
漏水・滲水	
補修跡	

```

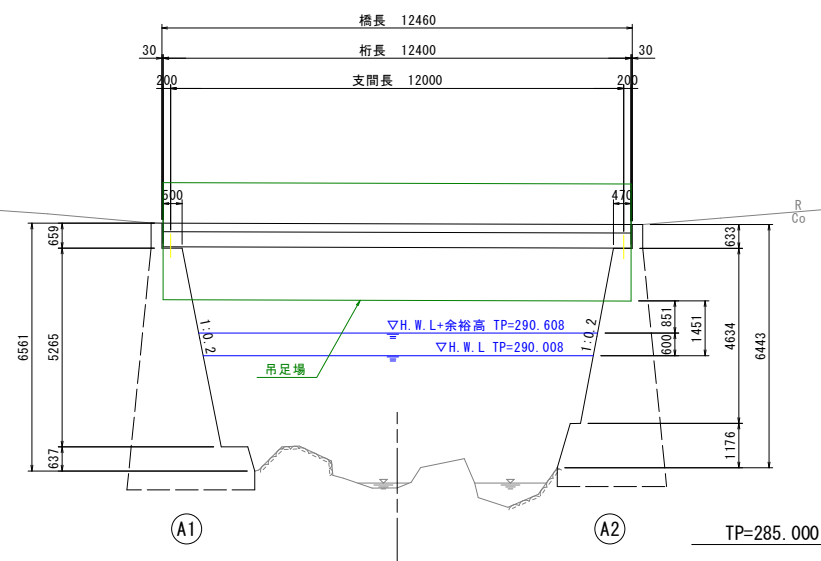
graph TD
    A[現況] --> B[既設主桁に孔明け]
    B --> C[ケレンによる素地調整]
    C --> D[パテ埋め]
    D --> E[補強板取付]
    E --> F[塗装]
    F --> G[完了]
  
```

現況
 ↓
 既設主桁に孔明け ①24.5孔
 ↓
 ケレンによる素地調整 2種
 ↓
 パテ埋め 断面減少部パテ埋め
 当て板部不陸調整(断面整形)
 ↓
 補強板取付 TCボルト締め
 ↓
 塗装
 ↓
 完了

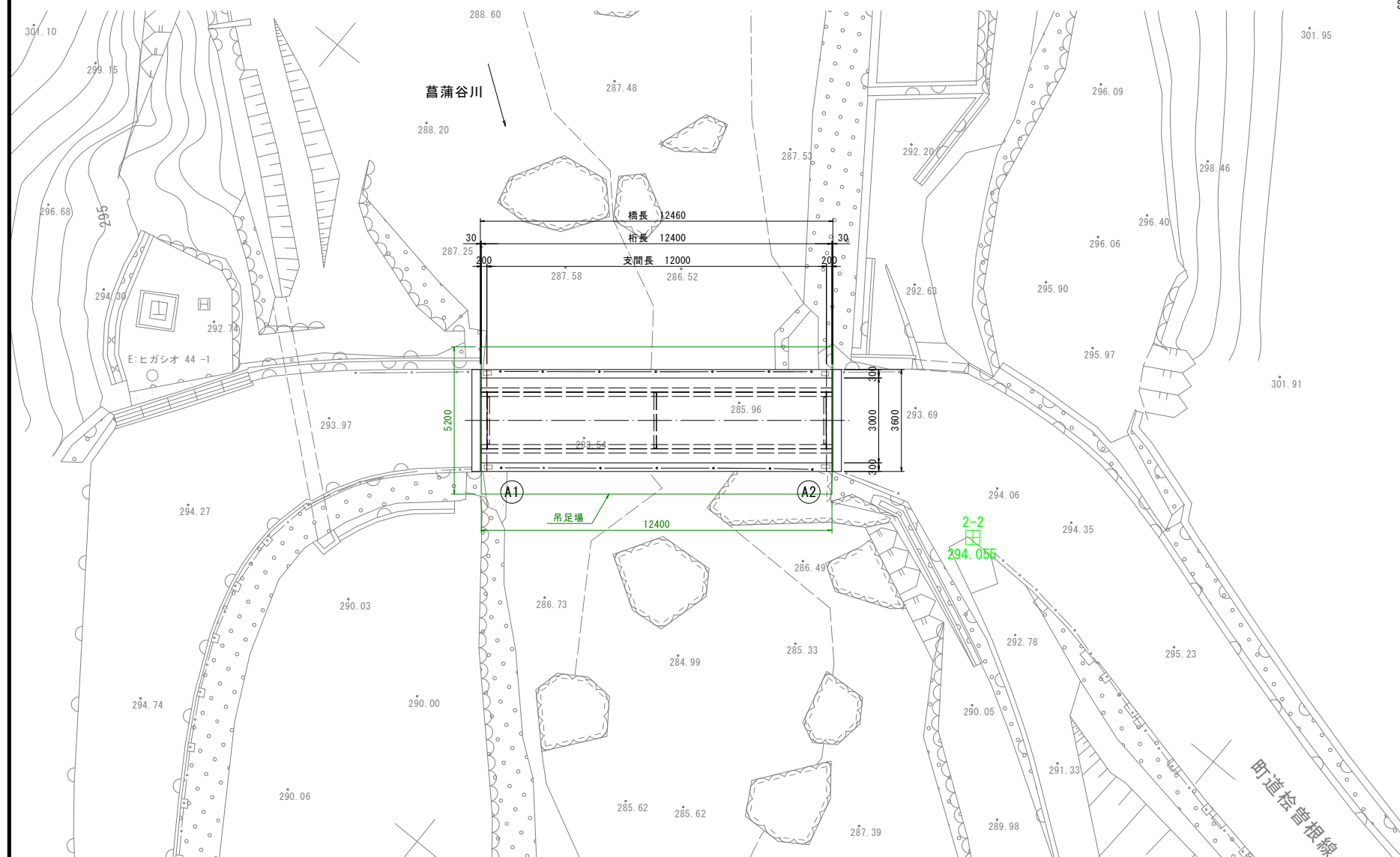
【 桧曽根橋 】		
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事（桧曽根橋ほか）	
路線名等	町道桧曽根線	
工事箇所	那賀町桧曽根字横ヶ谷	
図面名	当て板補修工詳細図（その3）	
縮尺	1：10	図面番号 9 / 11
会社名		
事業者名	那賀町建設課	

(桧曾根橋)

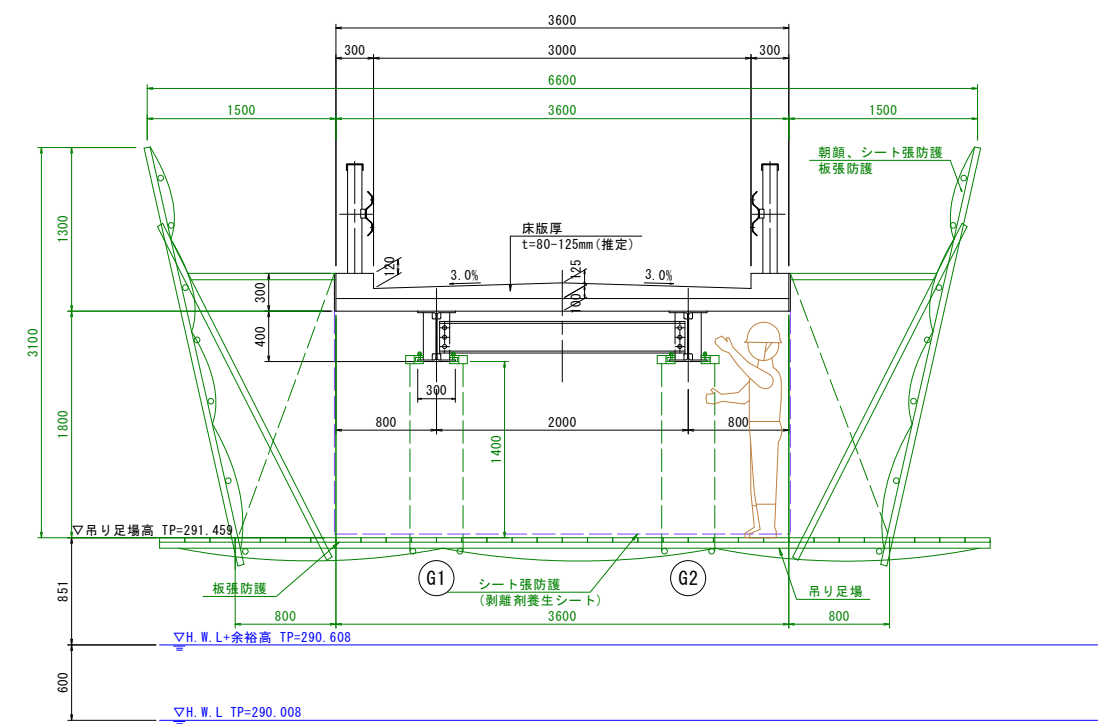
側面図 S=1:100



平面图 S=1:100



断面図 S=1:30

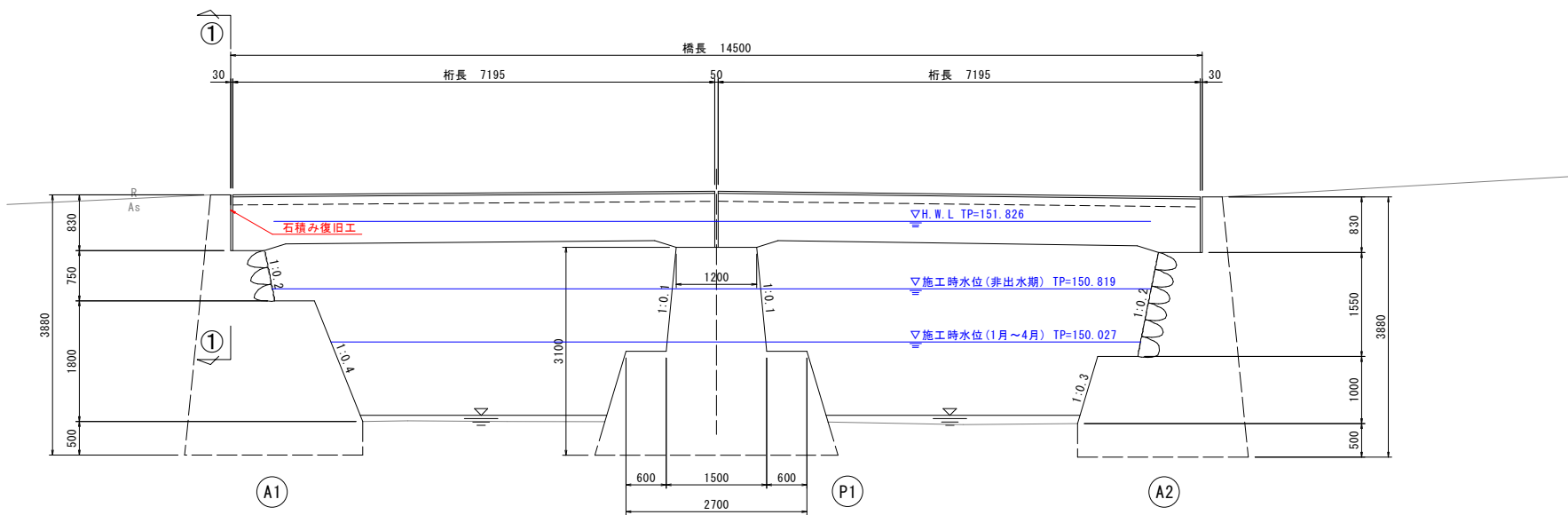


【 桧曽根橋 】			
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事（桧曽根橋ほか）		
路線名等	町道桧曽根線		
工事箇所	那賀町桧曽根字横ヶ谷		
図面名	施工計画図		
縮尺	図 示	図面番号	10 / 11
会社名			
事業者名	那賀町建設課		

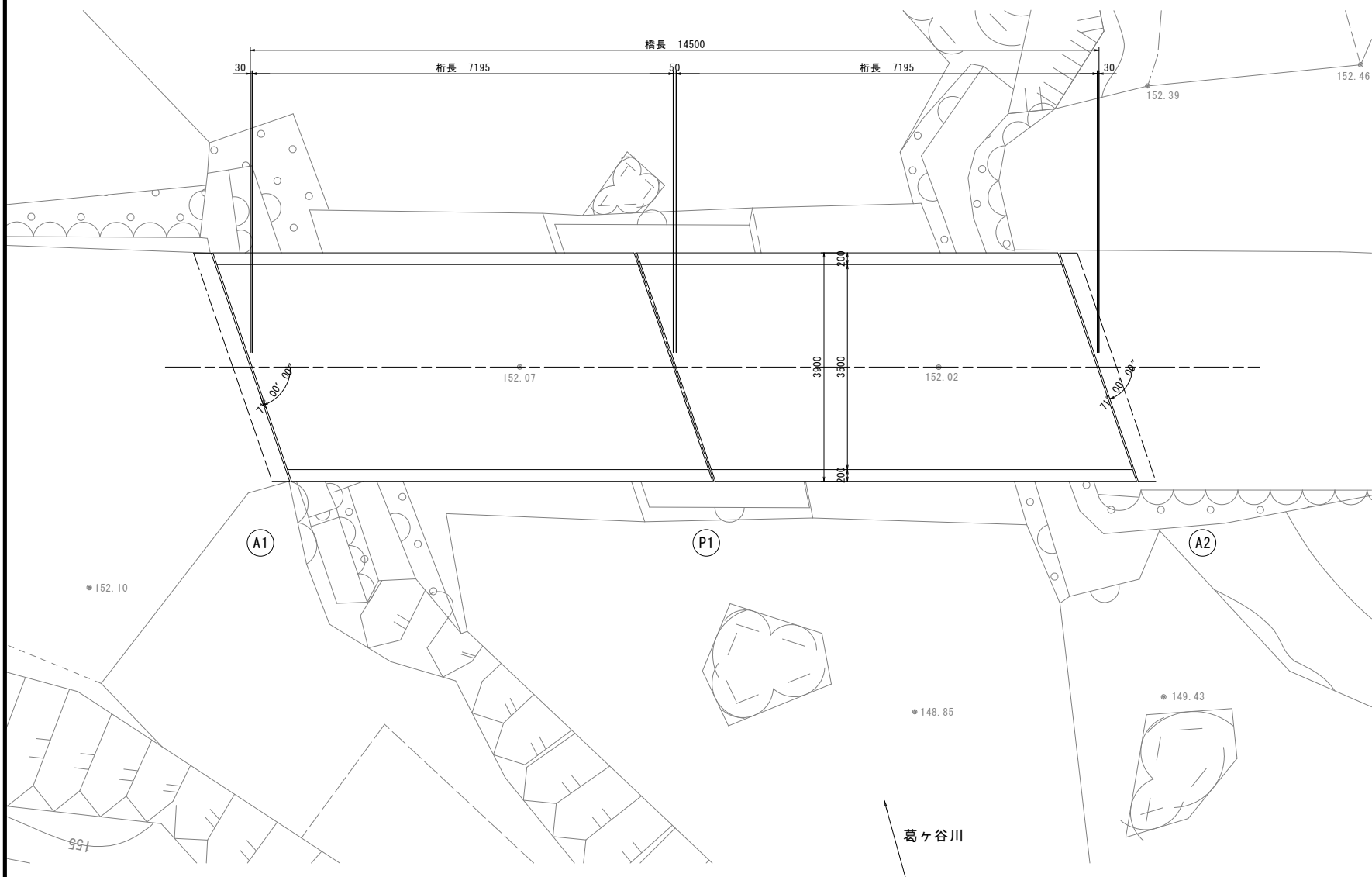
A1橋台補修詳細図

側面図 S=1:50

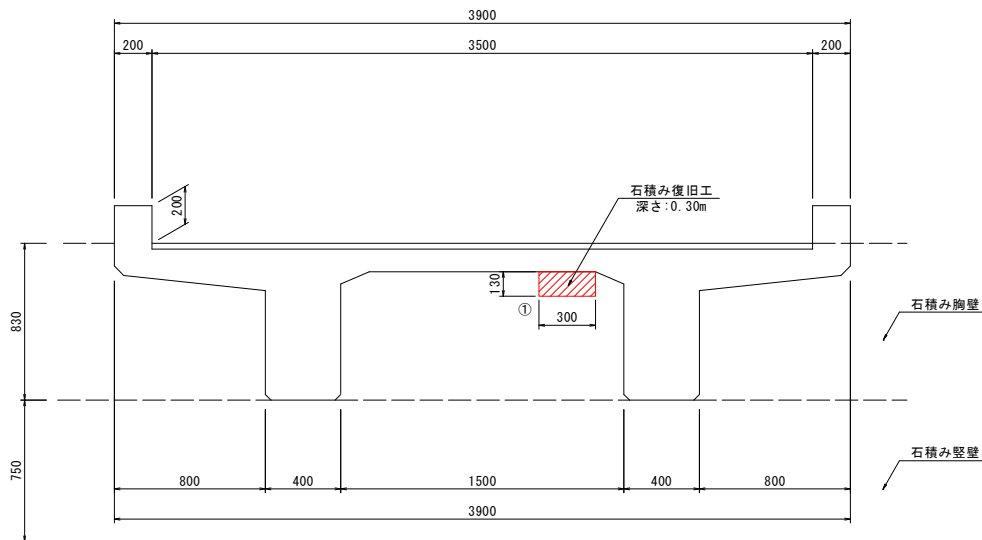
(葛ヶ谷1号橋)



平面図 S=1:50



①-①断面図 S=1:20



A1橋台 石積み復旧工（無収縮モルタル工）

部材	No.	種別	幅(m)	長さ(m)	深さ(mm)	全面積(m ²)	全体積(m ³)	防錆処理	備考
A1胸壁	1	石積み抜け落ち	0.13	0.30	0.30	0.039	0.0117	無	
合計						0.039	0.0117		

【橋梁諸元】

項 目	諸元	上部工形式	単純RCT桁橋 x2連
橋 梁 名 称	葛ヶ谷1号橋	下部工形式	石積み橋台(A1、A2、※推定)、壁式橋脚(P1、※推定)
所 在 地	(自)徳島県那賀郡那賀町水崎 (至)徳島県那賀郡那賀町水崎	基礎工形式	直接基礎(A1、P1、A2、※推定)
路 線 名	町道葛ヶ谷線	設 計 荷 重	不明
管 轄	那賀町 建設課	適 用 示 方 書	昭和31年(※推定)
橋 長	14.500m	架 設 年 度	1974年(架設後50年経過)
径 間 数	2径間	交 差 物 件	葛ヶ谷川
幅 員	(標準部)全幅:3.9m、有効幅員:3.5m 地覆0.20m+車道3.50m+地覆0.20m	添 架 物	無し
		緊急輸送路の指定	無し
		補 修 履 歴	2020年:定期点検
		(点 検 履 歴)	

補修工法一覧

工 種	内 容
下部工補修	石積み復旧 ポリマーセメントモルタル

【葛ヶ谷1号橋】

工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事（検査根拠ほか）		
路線名等	町道葛ヶ谷線		
工事箇所	那賀町水崎		
図面名	A1橋台補修詳細図		
縮尺	図 示	図面番号	11 / 11
会社名			
事業者名	那賀町建設課		

※留意点
・本橋梁は設計図書及び完成図書が存在せず、現地寸法計測及び既往成果の復元図により作図している。
・地形線は現地簡易計測により作図している。
・耐震補強設計など反力の算出や詳細な寸法や施工計画が必要となる場合、測量などの実施により詳細な寸法を決定すること。